

# 平成22年度当初予算案主要事項説明

教育委員会

事業名	子どものための京都式少人数教育推進費			
予算額	8,109,375千円	新規・継続の別	継続	
事業内容  (目的 対象 方法等)	<b>1 目的</b> 義務教育9年間を見通し、児童生徒や学校の実態に即して必要な教員を配置し、一人一人の児童生徒に確かな学力を定着させる。			
	<b>2 内容</b> (1) 京の子ども・少人数教育推進費（拡充）			
		19年度	20年度	21年度
	配置教員数	720人	760人	780人
	予算計上額	6,848,480千円	7,048,480千円	7,148,480千円
	○小学校において、30人程度の学級編制が可能となるよう教員配置を充実 ○市町村教育委員会が学校や児童生徒の状況に応じて少人数授業・チームティーチング・少人数学級を選択して実施			
	少人数授業	児童生徒を習熟度別・課題別等に分けて、少人数授業を展開		
	チームティーチング	学級に複数の教員が入り、連携して授業を展開		
	少人数学級	市町村の判断により、40人を下回る人数で学級を編制		
	(2) 小学校低学年指導充実費（継続）			
	配置教員数	699人		
	予算計上額	764,993千円		
○小学校1・2年生で、2人の教員による指導を行う。 ○配置については、30人を超える学級を基本とするが、各学校の状況等に応じて弾力的に運用				
	学年	配置時間（期間）	配置数	
	1年生	週27時間 全学期	約366学級	
	2年生	週10時間 1学期	約333学級	
(3) 全中学1年生英数少人数教育実施費（継続）				
	配置教員数	296人		
	予算計上額	95,902千円		
○中学校1年生における英語、数学の基礎学力の定着を図るため、30人を超える学級で、少人数教育が実施できるよう教員を配置				
担当課名	教職員課 人事担当 学校教育課 指導第1担当	課・担当 電話番号	075-414-5799 075-414-5833	